

## 当院の糖尿病・代謝内科外来に受診中の患者さんへ

当院では、「トリグリセライド (TG) は遊離グリセライドを含めて測定すべきか (多施設共同研究)」に参加しております。この研究は、糖尿病や脂質異常症などの代謝疾患の患者さんに対して、いくつかあるトリグリセライドの測定法のうち、どのような方法が望ましいか、を検討する目的で行われています。

### 1.対象となる方

当院を受診されている外来および入院患者さん

①脂質異常症 ②糖尿病 ③高血圧 ④冠動脈疾患 ⑤肥満症 ⑥脂肪肝 ⑦その他の慢性疾患

### 2.研究の意義

トリグリセライド (TG: 中性脂肪と呼ばれることがあります) は、動脈硬化を促進する危険因子であり、病態の正しい評価と治療のために正しく測定することが必要です。しかし、遊離グリセライドを含める測定法 (欧米) と、含めない測定法 (我が国) があり、どちらが望ましいか十分な検討がなされていません。そこで私たちは、様々な状態での遊離グリセライド濃度を測定し、TG は遊離グリセライドの値を含めて測定すべきなのか検討する研究を計画しました。この研究によって、遊離グリセライド濃度が各種の病態で違うことが明らかとなれば、遊離グリセライドを消去した我が国の TG 測定法の方が欧米の測定法より望ましいということになり、世界的な TG 値の標準化に大きく貢献することとなります。

### 3.研究の方法

血液を通常の方法で約 5 ml 採血するか、通常の血液検査の検体の残りを使います。

この研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、東京大学医学部倫理委員会の承認のうえ実施されます。この研究は全国で行われ、研究結果は個人が特定できない形で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重に管理され、この研究が行われている間、東京大学医学部附属病院で保管されます。なお、研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。また、研究同意の撤回を申し出る場合は、担当医にお問い合わせ下さい。採取した血液や調べた結果を廃棄します。ただし、すでに結果を公開してしまっている場合には、データの廃棄ができない場合もあります。

ご不明な点やお問い合わせがありましたら、主治医または研究事務局へお尋ねください。

### 研究の詳細

トリグリセライド (TG) は遊離グリセライドを含めて測定すべきか (多施設共同研究)

研究統括医師： 三井田 孝・順天堂大学臨床検査医学講座・教授

研究参加施設：当院、東邦大学医療センター佐倉病院・東京女子医科大学病院・新東京病院、信州大学

### 問い合わせ・連絡先

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教 岡崎 啓明

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-3815-5411 (内線：33113)

FAX：03-5802-2955

E メールでのお問い合わせ：[hokazaki-tky@umin.ac.jp](mailto:hokazaki-tky@umin.ac.jp)